

青梅市

緑

が十人十色に

そま 朽るまち 青梅

の
基本計画



平成26年5月
青梅市

目次 contents

	かつて ^{そまのほ} 杣保 とよばれたまち	1
序章	緑の基本計画をつくるにあたって	4
	1 計画の背景と目的	5
	2 計画の基本的事項	5
	3 対象とする緑とその役割	6
	4 計画改定の視点	9

第1章	青梅市の緑を取り巻く現況と課題	10
	1 緑を取り巻く都市の概況	11
	2 青梅市の緑の特徴	12
	3 青梅市の緑の現況	18
	4 緑のまちづくりにあたっての課題	21

第2章	緑の将来像	24
	1 基本理念と基本方針	25
	2 緑の将来像図	27
	3 計画の目標（都市緑地法第4条第2項第1号）	29

第3章	計画実現のためにどうするか	34
	1 施策の体系	35
	2 重点プロジェクト	36
	3 個別施策（都市緑地法第4条第2項第2号）	37

第4章	地区ごとの方針	56
-----	----------------	----

第5章	緑を守る大事な場所	70
	1 地区・地域指定の考え方	71
	2 地区・地域の方針	72
	3 保全計画（都市緑地法第4条第2項第4号、第5号）	73

第6章	計画の推進にあたって	80
	1 各主体の役割と取り組み体制	81
	2 進行管理	83

そま
あなたも青梅の緑に**杣**ってみよう84
(施策を活用した市民の取り組み紹介)



詳細編 青梅市の緑を取り巻く現況と課題90

- 1 緑を取り巻く社会動向91
- 2 緑を取り巻く現況95
- 3 緑に関する市民意向111
- 4 分野別の課題の整理121

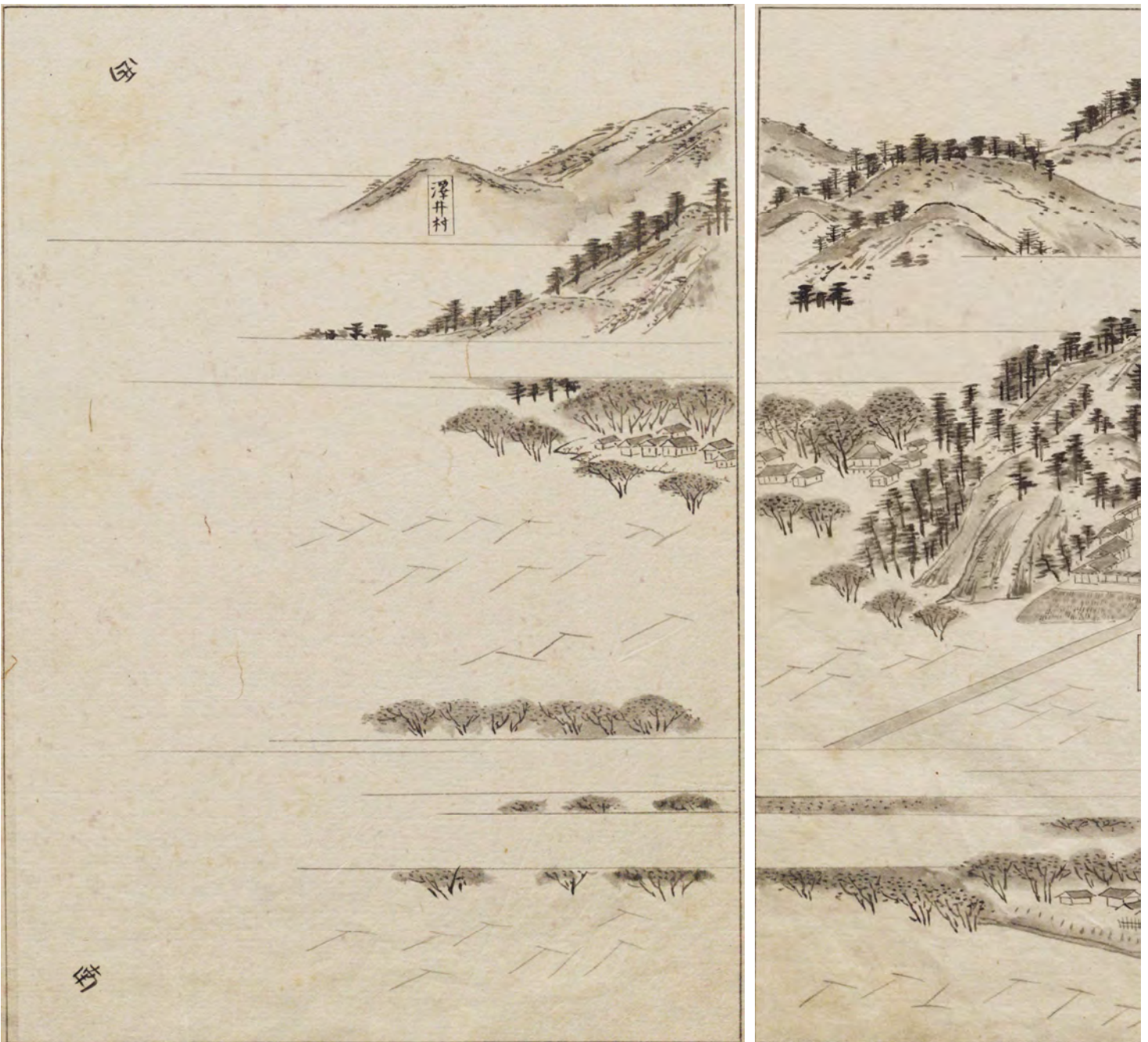
資料編 126

- 1 策定体制と経過127
- 2 青梅市緑の基本計画改定（原案）
にかかるパブリック・コメント
実施結果129
- 3 用語解説133

また「杣」とは、場所だけでなく、木材や石、動物、さらにはそこで働く人など、山林資源すべてを意味する言葉でもあります。しかし近年、生活様式の変化などにより、かつての青梅の人々の暮らしを支えていた「杣」の概念は失われています。

そこで本計画では、「杣」という言葉を、青梅の豊かな自然、人材などを、本市が潜在的に持っている可能性をあらわす言葉と定義することとしました。

青梅市緑の基本計画は、かつて「杣保」として栄えた青梅の活気あふれる姿や自然とともに歩んできた歴史を思い起こし、緑を中心とした活動を通して、市民が実現したい「今の青梅」の姿を、ともにつくり上げることを目指して策定するものです。



江戸時代（19世紀）の二俣尾村の様子

かつて 松保と

そまのほ

よばれたまち

青梅市史によると、『鎌倉時代から青梅地方を「**杣保**」と称したことは、現存する多くの資料によって明らかであるが、「保」とは庄と同様、郷の上層区画で、「杣」とは山方の意味である』としています。

市内の地名等に現在も見ることのできる「杣保」や「杣」は場所をあらわす言葉である一方、山林資源が豊富であったこの地方の特徴をあらわすように、林業と結び付けられた言葉としてもよく知られています。



